



令和4年12月 市議会定例会

議会の個人情報保護に関する条例を可決

議会事務の適正な運営と個人の権利利益を保護

平塚市議会は、令和4年11月28日から12月21日まで、24日間の会期で12月定例会を開催しました。今定例会では、市長提出議案として、条例の一部改正や令和4年度補正予算、人事案件など28案件が提出されました。審議の結果、全ての議案を原案どおり可決、承認、同意しました。

また、議員から、市議会の個人情報の保護に関する会議案が提出され、審議の結果、原案どおり可決しました。

なお、9月定例会で提出され継続審査となっていた、令和3年度決算の認定などに関する議案は、決算特別委員会での審査結果を受け、認定、可決しました。

※議案と審議の結果は8面に掲載しています。



「2023年のほじまり」

― 新年を迎えた平塚海岸 ―

今定例会では、エネルギー価格の高騰に伴う各施設における光熱水費などの増額のほか、出産・子育て応援金の交付及び伴走型相談支援を実施するための経費などを中心に、5億3965万円の増額となる一般会計補正予算が提案されました。

主な内容として、出産・子育て応援金を「ひらつか☆スターライトマネー」で交付するための経費や、民間保育所の増改築にかかる助成経費の措置、次期健康増進計画・食育推進計画の策定に伴う市民アンケート実施のための経費が計上されました。

このほか債務負担行為では「平塚市聖苑」及び「湘南ひらつかビーチセンター」の指定管理料についての質疑や「可燃ごみ及び資源再生物(ペットボトル・容器包装プラスチック)収集運搬業務委託料」については、令和5年度から収集運搬業務の一部を委託するに当たり、今年度中に事業者を選定する経費として、期間は6年間、限度額5億3621万円が計上されました。

また、早急な対応が必要として10月に専決処分された住民税非課税世帯などへの緊急支援給付やオミクロン株対応ワクチン接種、物価高騰対策に係る一般会計補正予算について承認が求められ、採決の結果、全員異議なく承認しました。

用短時間勤務制に関する必要な規定などを整備する条例が提案されました。

常任委員会では、管理監督職務上限年齢及び定年前再任用短時間勤務制導入後の身分や待遇など、今までの再任用制度との違いや、俸給・奉職などが下がる役職定年の取り決め、役職定年者が多くなった場合にこれまでの経験を生かした適正配置などについても質疑がありました。

採決の結果、全員異議なく可決しました。

◆町の区域の新設

大神、吉野地区に住居表示を実施することに伴い、新たに町の区域及び町名を定める議案が提案され、採決の結果、全員異議なく可決しました。

◆指定管理者の指定

指定管理者の指定に関する2件の議案が提出され、採決の結果、全員異議なく可決しました。

令和5年4月1日から、平塚市聖苑及び湘南ひらつかビーチセンターは5年間、指定管理者が管理・運営を行います。

◆議会の個人情報の保護に関する条例を可決

議員から、平塚市議会の個人情報の保護に関する条例の会議案が提出され、審議の結果、全員異議なく可決しました。

◆職員の定年等に関する条例の一部改正

地方公務員法の一部改正に伴い規定を整備するとともに、職員の定年引き上げに当たり、管理監督職務上限年齢及び定年前再任用

目) ○陸田光広氏(中原二丁目)

主な内容

総括質問 2~7面
清風クラブ 2・3
片倉章博 野崎審也 坂間正昭
しらさぎ・無所属クラブ 4
渡部 亮 江口友子 府川 勝
湘南フォーラム 5
府川正明 小泉春雄 出村 光
公明ひらつか 6
石田美雪 上野仁志
日本共産党平塚市議会議員団 7
石田雄二
常任委員会の審査概要 6・7面
審議の結果 8面

令和3年度 決算を認定

《決算特別委員会の質疑内容は3面に掲載》

9月定例会に提出された令和3年度の決算の認定に関する議案について、付託した決算特別委員会の審査結果を受け、12月定例会初日に各会計決算を認定しました。

